

思索の丘

学校教育目標

「自ら学び、心豊かで、たくましく生きる生徒を育てよう」
— 知恵をだそう 声をだそう 汗をだそう —

2021年（令和3年）10月25日発行 No. 12
福山市立広瀬中学校 校長 三宅 幸二

～ 「JOCオリンピック教室」実施しました！ ～

10月20日（水）に「JOCオリンピック教室」を本校で実施しました。オリンピックに3回も出場された岡本依子さんというテコンドーのオリンピックが、来校され、運動と座学をしてくださいました。

3校時は『準備運動』や『ボール送りリレー』などの運動を主に行いました。4チームにわかれて、何度か作戦タイムを取りながら行いました。

4校時は座学でしたが、オリンピックが実際にオリンピックに出場して得た貴重な経験や「オリンピックバリュー（オリンピックの価値や精神）」について、説明等していただきました。以下がその内容です。



私は夢をもったら叶うと思っています。夢をもったらできると思わないとできないし・・・私は21歳からアメリカでテコンドーを始めました。大学生の時から始めました。夢はできると思っている人ができると思っている。みんなができないと思っていた時も、自分だけはできると思っていた。

今、私は大阪で子どもたちにテコンドーを教えている。子どもたちには自分ができると思えば、何でもできると言っている。努力すれば、がんばれば、必ずできると言っている。

最初は応援というものは役に立たないと思っていた。でも、「がんばって！」と思ってもらえることって大切なことなんだということがわかってきた。また、オリンピックって『エクセレンス（卓越・・・一生懸命がんばる、取り組む）』はわかるけど、『フレンドシップ（友情）』や『リスペクト（敬意・尊重）』はどう関係があるのか、わからなかった。一人では乗り越えられない壁がある。こういう時、『友情』『敬意』というものが大事になった。どこかで限界が来てしまい、上の方までいけないと感じた。自分を高めていくことで、『友情』『敬意』って必要であるということに気づいた。
・・・略・・・

最後に、オリンピックから「オリンピックバリューの『エクセレント』『フレンドシップ』『リスペクト』は私たちの身近にあるものの中で何にあてはまると思われますか？」と

いう問いをされ、それぞれのグループで相談しながら、まとまったものを順番に発表しました。あっという間の2時間でしたが、いい体験ができました。



～ 「高校説明会」への出席、

ありがとうございました！！～

22日（金）、本校体育館にて生徒・保護者対象の「高校説明会」が行われました。保護者の皆様にはお忙しい中、出席していただきありがとうございました。5つの高等学校（岡山龍谷高校・芦品まなび学園高校・府中東高校・戸手高校・府中高校）の先生方に来校していただき、それぞれの学校の特色等を聴くことができました。

この「高校説明会」は3年生にとっては、これからの進路選択の参考になったのではないかと思います。がんばりを期待します。

保護者の皆さん、お子さんの進路は、勝負ではありません。他の子どもと比較するべきものでもありません。人生の先輩として応援や助言をしてあげてください。また、お子さんの進路選択に関わって、不明な点がありましたら、学年担任を始め、学校へお問い合わせください。



体罰・セクハラ・いじめ相談窓口のお知らせ（困った時は、遠慮なく相談してください）

- 広瀬中学校
校長 三宅 幸二 教頭 平山 祐輔 生徒指導主事 岡田 直晃
養護教諭 谷本妃呂美 084-972-2210
- 広島県教育委員会教職員課 082-513-4917～9
- 広島県立教育センター 082-427-3076
- 福山市教育委員会学事課 084-928-1112
- 福山市教育委員会学びづくり課 084-928-1170